

5月の新刊

図書館

筒井633  
☎98514140

松前町ふるさと  
ライブラリー

◆初夏―東京湾臨海署安積班／今野 敏  
◆ローカル線で行こう！／真保 裕一  
◆子どもの本当の気持ちが見えるようになる本  
／原坂 一郎  
◆くわしく知りたい目の病気／大鹿 哲郎  
◆イヌ カウ コドモ／金森 美智子（著）  
スギヤマ カナヨ（イラスト）  
◆おなべふこどもしんりょうじよ／やぎゆう  
げんいちろう  
◆からだだいきえほん シリーズ1〜8／Lazio  
※この他にもたくさんのお本が入っています。

おはなしかい

日時 5月25日(土) 11時  
場所 文化センター2階  
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなど  
を使って毎回楽しいおはなしをします。  
皆さん、ぜひ来てみてください。

5月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時  
○休館日 31日(金)

東公民館

神崎210  
☎98411159

子ども囲碁教室

3月9日、平成24年度最後の「子ども囲碁教室」では、先生から指導を受けたり、子ども同士で対局を行ったりした後、閉講式を実施しました。式では、皆勤賞、精勤賞や参加賞が贈られ、先生からはみんなが上達したことに對してのお褒めの言葉と、今後の課題などについてのお話がありました。

東公民館では、本年度も子ども囲碁教室を行います。囲碁は右脳のスポーツと言われていて、囲碁をすることによって、感性や長期的で全体的な視野を育むことができます。その効果は、幼年期が最適と言われています。その効果は、初心者も大歓迎です。北伊予っ子の参加をいつでもお待ちしております。



一般書

ロスト・ケア  
葉真中 著 / 光文社 /  
第16回日本ミステリー文学大賞新人賞

社会の中でもがき苦しむ人々の絶望をえぐり出す、魂を揺さぶるミステリー小説の傑作に、驚きと感嘆の声。人間の尊厳、真の善と悪を、今を生きるあなたに問う。

絵本

おじいさんのしごと  
山西 ゲンイチ 作 / 講談社

死んでしまったおじいちゃん。なが〜い階段の先、人間の天国だと思ったら、間違っって着いてしまったねこの天国。そこで、任されたおじいさんのお仕事は？

一般書

色彩を持たない多崎つくと、彼の巡礼の年  
村上 春樹 著 / 文藝春秋

多崎つくるにとって駅をつくることは、心を世界につなぎとめておくための営みだった。あるポイントまでは…



絵本

ぎょうれつ  
中垣 ゆたか 著 / 偕成社

あれ、なんのぎょうれつ？ 並んでみたら思っていたよりも全然長かった。細かく書きこまれたたくさんのおもしろい人たちのぎょうれつを楽しむ絵本。



西公民館

北黒田966-2  
☎98415313

消すまでは  
心の警報 ONのまま

3月19日、松前消防署員の立会いのもと、パッチワークサークル、移動児童館の皆さんの協力を得て、避難訓練を実施しました。非常ベルの後、放送に従って、スロープを使用して避難をしました。その後、署員から消火器の使い方について指導してもらいました。

要点は次の3点です。①黄色の安全ピンを抜く。②ホースを外し、ホースの先を持って火元に向ける。③レバーを強く握って放射する(火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように)。

火災を発見したら、大声で周囲の人に知らせましょう。消火器での初期消火が可能なのは、天井に火がまわるまで。一人で消火しようとして、みんなで協力することが大切です。



包括支援

筒井710-1  
☎98514205

松前町地域包括  
支援センター

高齢者と薬

高齢者は、複数の病気にかかる場合が多く、何種類もの薬を飲むことがあります。薬の飲み合わせは、薬と薬の相互作用や身体機能低下による副作用が現れることがあり、注意が必要です。

◆副作用が起こると…

高血圧の薬…ふらつき、顔面紅潮、頭痛  
高脂血症の薬…かゆみ、発疹、筋肉痛  
睡眠導入の薬…歩行困難、記憶障害、尿失禁

◆副作用の原因には

①薬の作用…治療の目的以外で効き目が出る。  
②薬の使用…飲み方(時間・間隔・量)の間違い。  
飲んでいる薬や健康食品との飲み合わせ。  
③自身の原因…年齢・性別・体重・生活習慣・嗜好品などの影響。

◆副作用を防ぐために

①飲んでる薬を理解しましょう。  
②お薬手帳を活用しましょう。  
③薬の説明書はしっかりと読みましょう。

副作用は個人差があります。薬を飲んだ後、いつもと調子が違うようであれば医師や薬剤師に相談をしましょう。

北公民館

昌農内456-1  
☎98417529

岡田小学校放課後  
子ども教室(閉講式)

第27回子ども教室後に閉講式を行いました。式では感想発表などがあり、「1年間で楽しかったのは全部です。いつも楽しみでした。(1年児童)」「好奇心に満ちた眼差し、喜びの顔、満足感など活動を共にしたからこそ、みんなの輝く姿に出会えて幸せでした。(安全管理員)」「思い出すのはみんなの「元氣パワー」と輝く笑顔。本来ならさよならの時かもしれないけれど、また会いたいですね。(学習アドバイザー)」などの声がありました。

最後は、子どもたちからの「ありがとうございませう」の感謝の言葉で、平成24年度の子ども教室は締めくくられました。もうすぐ始まる本年度の子ども教室。そこでの出会いに、また新たな希望が膨らんでいます。

